2026年3月16日

会　社　名　株式会社 髙　島　屋
代表者名　取締役社長　村田　善郎
コード番号　8233
連　絡　先　広報・IR室長　大江　真理子
TEL. 03-3211-4111

2026年2月度　髙島屋営業報告

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、営業報告で開示する売上高につきましては、従来の基準（総額売上高）で開示しております。

〔売上高　総計〕

（前年比 単位：%）

㈱髙島屋計	△2.7 ※1	㈱髙島屋および国内百貨店子会社計	△2.5
㈱髙島屋既存店計	△1.4 ※2	㈱髙島屋および国内百貨店子会社既存店計	△1.3 ※2

〔店舗・事業部別　概況〕

（前年比 単位：%）

	売上高	入店客数		売上高	入店客数
大阪店	△1.2	+0.6	EC店	+7.9	-
京都店	+4.2 ※3	+0.1	㈱髙島屋各店計	△2.3	△3.6
泉北店	+3.7	+2.2	㈱髙島屋各店既存店計	△0.9 ※2	+0.6
日本橋店	△3.2	△0.4	岡山髙島屋	+0.4	△2.1
横浜店	+1.8	△0.7	高崎髙島屋	+2.9	△4.3
新宿店	△1.1	△3.1	㈱髙島屋各店および国内百貨店子会社計	△2.1	△3.6
玉川店	△12.9	+1.5	㈱髙島屋各店および国内百貨店子会社既存店計	△0.7 ※2	+0.5
大宮店	+5.1	△3.0	法人事業	△9.4	
柏店	△5.1 ※4	+8.6	クロスメディア事業	△1.5	

※1. ㈱髙島屋の売上高は、㈱髙島屋各店、法人事業、クロスメディア事業を含みます。
※2. 本年1月7日に営業を終了した「堺店」の前年実績を控除しています。
※3. 京都店は「洛西店」の売上高と入店客数をそれぞれ含みます。
※4. 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高と入店客数をそれぞれ含みます。

〔商品別売上高〕

（前年比 単位：%）

	㈱髙島屋	㈱髙島屋 および国内百貨店子会社
衣料品	△5.9	△5.9
紳士服・洋品	△0.7	△1.0
婦人服・洋品	△7.0	△7.0
子供服・洋品	△4.9	△5.2
その他衣料品	△3.4	△3.0
身のまわり品	+1.9	+1.5
家庭用品	△5.9	△5.7
家具	+124.2	+73.8
家電	△19.8	△19.2
その他家庭用品	△6.9	△6.3

	㈱髙島屋	㈱髙島屋 および国内百貨店子会社
食料品	△3.9	△3.7
生鮮食品	△6.5	△6.2
菓子	+24.0	+22.2
惣菜	△3.2	△3.0
その他	△44.4	△42.9
食堂・喫茶	+1.7	+1.8
雑貨	△1.5	△0.5
化粧品	△10.9	△10.6
美術・宝飾品・貴金属	+11.6	+14.5
その他	+8.5	+9.1

	㈱髙島屋	㈱髙島屋 および国内百貨店子会社
サービス	+16.1	+16.0
その他	△3.8	△3.6
合計	**△2.7**	**△2.5**

○百貨店売上高の前年比(※既存店対比)におきましては、店頭売上高△2.1%(※△0.7%)、免税売上高△13.0%、免税を除いた店頭売上高△0.0%(※+1.6%)となりました。
○国内顧客は、バレンタイン催事「アムール・デュ・ショコラ」が堅調に推移したことや、中旬以降、春物衣料・雑貨に動きがみられたことで、既存店対比では前年実績を上回りました。
インバウンド顧客については、中国による「訪日自粛要請」の影響等もあり、前年実績を下回りました。
○法人事業は、前年における大口受注の反動により前年実績を下回りました。
クロスメディア事業につきまして、主力である通販カタログ事業は堅調に推移したものの、その他事業が前年実績を下回ったことから、事業全体としても前年実績を下回りました。
○3月の百貨店売上高の前年比（15日までの累計 ※既存店対比）は、店頭売上高+15.0%、免税売上高+15.5%、免税を除いた店頭売上高+14.9%で推移しています。
※上記の数値は、2025年度決算に伴う売上高修正を反映しております。（2月度はマイナス、3月度足元は同額プラスの売上高修正）
売上高修正を除く実質の前年比（既存店対比）は以下のとおりです。
2月度：店頭売上高+2.1%　免税を除いた店頭売上高+4.8%
3月度：　〃　+10.3%　〃　+9.7%（15日までの累計）

以　上